

新年にあたって



一般社団法人
長岡市建設業協会
会長 本田浩太



新年明けましておめでとございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年、当協会創立八十周年を迎える記念すべき年であります。これまでの会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。協会の使命と目的を踏まえ、九十周年さらには百周年に向け、昨年十二月八日深夜に青森県で震度六強の地震が発生したように、予期せぬ自然災害が頻発する昨今、地域の安全安心の守り手として、地域社会の発展に寄与してまいりたいと思っております。

昨年は、新年早々、埼玉県八潮市で下水道管の破損に起因する道路陥没が発生し、トラック運転手の尊い命が犠牲になりました。そして交通規制や近隣住民の避難、工業用水供給の緊急停止など地域全体に影響が及ぶ事態となりました。全国的にインフラの老朽化対策が喫緊の課題であることが改めて浮き彫りになった年でありました。

また、地球温暖化の影響により、六から八月の全国の平均気温が観測史上最も暑くなるとともに、昨年六

月から、職場における熱中症対策が義務化され、条件を満たす作業を行う企業はすべてが対象となりました。

さて、長岡市では、令和二年から試行的に導入された「変動型最低制限価格制度」が、九月から新潟県に準じ固定型に変更されました。これまでの会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さらに工事書類等の簡素化については、長岡市関係課との協議や意見交換を行いながら、よりよい方向に進んでおり、今後も市と協議を進めながら一歩一歩前進してまいります。

建設業界は、人手不足や原材料高など、厳しい経営環境が続いていますが、建設業の魅力向上と持続性の確保に向け、長岡市をはじめ関係団体と一丸となりこれまで以上に「地域力の強化」に取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様方ますますのご健勝とご多幸並びに当協会の発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年度 主な活動報告

月 日	項 目
5月13日(火)	令和7年度定時総会・懇親会 (長岡グランドホテル)
8月3日(日)・4日(月)	長岡まつり大花火大会 会場早朝清掃 (長岡地域) <参加者> 3日…25社72人、4日…24社60人
8月6日(水)	長岡市議会市民クラブとの意見交換会 (ホテルニューオータニ長岡)
8月21日(木)	会員親善ゴルフ大会 (長岡カントリー倶楽部)
10月1日(水)	入札・契約に関する質問事項の提出 (→長岡市財務部長)
10月14日(火)	令和8年度長岡市政に対する要望書の提出 (→磯田市長)
10月16日(木)~10月18日(土)	会員研修旅行 (新潟県建設業協会長岡支部と合同) ~世界遺産熊野古道と南紀白浜 紀三井寺と和歌山の旅~
12月24日(水)	長岡市関係課との意見交換会 (さいわいプラザ) テーマ: 工事書類に関する要望等について
1月15日(木)	合同新年会 (長岡グランドホテル)

会員親睦ゴルフ大会

八月二十一日(木)、あいにくの雨風の中、会員二十四名が参加して、会員親睦ゴルフ大会が長岡カントリー倶楽部で開催されました。上位入賞者は次のとおりです。

- 優勝 関川卓至さん (関川組)
準優勝 田辺永茂さん (田辺建設)
三位 小川大輔さん (小川興業)

新年のご挨拶



長岡市長
磯田 達伸

明けましておめでとうございませう。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長岡市建設業協会の皆様におかれましては、日頃から、市民の安全・安心な暮らしを支えていただき、心から感謝申し上げます。

本年、長岡市は市制施行百二十周年を迎えます。幾多の困難を乗り越え、先人たちが築いた「米百俵の精神」「協働によるまちづくり」の原点に立ち返り、未来の長岡のため挑戦を続けていく決意です。

現在、日本社会は、人口減少・少子高齢化、物価高騰による実質賃金の低下、公共施設の老朽化、デジタル社会への対応など、歴史的な転換期にあります。地域の活力を維持し、安全安心なまちを築くためには、従来の発想にとらわれない取り組みが必要です。4月から始まる新しい市の総合計画のもと、「長岡版イノベーション」

と行財政改革を着実に推し進め、人や企業に「選ばれるまち長岡」を実現してまいります。

昨年十月一日には、ETC専用のスマートインターチェンジの名称が「長岡西大積スマートインターチェンジ」に決定され、早期供用に向け、工事を進めております。

併せて、スマートICとのアクセス道路となる「長岡ニュータウン連絡道路」を整備し、高速道路の利便性の向上や、産業振興、防災機能の強化を図ります。

近年頻発する自然災害が全国各地で甚大な被害をもたらしており、改めて、人と人をつなぐインフラ整備の重要性を感じます。災害時の迅速な対応や、地域間の活発な連携交流へつながる道路ネットワークを形成すべく、市では、左岸バイパスの南北延伸など、幹線道路網と地域インフラの着実な整備や維持管理を進めてまいりますので、貴協会の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年になりますことを祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



会員の異動

代表者の変更

会社名	変更前	変更後	変更日
(株)白井組	白井 徹	白井直美	令和7年1月6日
坂井建設(株)	坂井重栄	坂井義栄	令和7年3月27日
(株)吉原組	下園修治	伊藤長徹	令和7年10月23日

退会

会社名	退会日
清進興業(有)	令和7年3月31日
共和土建(株)	令和7年9月30日

※会員数(令和7年12月31日現在)72社
(正会員63社、準会員9社)

令和7年度 安全功労者表彰

5月28日、長岡建設会館において、次の方々が安全功労者として表彰されました。

これまでの安全運動に敬意を表しますとともに心からお祝い申し上げます。

賞名	会社名	氏名
功労賞	(株)曙建設	太刀川 利 幸
功績賞	共栄建設(株)	五十嵐 一 夫



会員表彰

五月十三日の定時総会において、今年度の会員表彰が行われ、表彰規程に基づき表彰状を贈呈しました。受賞されたお二方、誠にめでとうございます。

○満七十歳以上で、かつ満十年以上会員として業界に功労のあった方

大石 保男（株式会社大石組）

細川 恭一（長岡舗道株式会社）



会員研修旅行 和歌山



今年度の会員研修旅行は、10月16日(木)から18日(土)までの三日間、32名が参加し、10月中旬にしては比較的気温が高い中、熊野古道～南紀白浜を堪能し、非常に思い出に残る旅行となりました。

1日目は紀三井寺、紀州東照宮、和歌山城を見

学、2日目は快晴の下、「熊野大社と熊野うなぎ」観光コースと「橋本カントリークラブ」ゴルフコースに分かれ、充実した日を過ごしました。3日目は、恋人の聖地南紀白浜～三段壁等を散策し、伊丹空港から帰路につきました。

主な活動(抜粋)



令和7年度定時総会



市政に対する要望書の提出



長岡まつり大花火大会 会場早朝清掃

縁と人生

小川興業(株) 小川大輔

皆さん、こんにちは！ 今日私は自身の人生で重要な「縁」について、お伝えさせていただきます。特に、皆さんと同じ建設業で働いている方々に共感していただけることが多いと思いますので、是非ご一読下さい。

私の話は、小学生のころから始まります。野球が大好きで、毎日グラウンドでボールを追いかけていました。仲間たちと汗を流し、試合に勝ったときの喜びは今でも鮮明に覚えています。この青春の一部は、私の人生の根幹を形成する大きな出来事でした。

高校に進学してからも野球は続けましたが、大学進学の道を選ぶべきか、専門学校に進むべきか、私は大きな悩みを抱えました。大学に進めば、さらなる野球の舞台への挑戦がまっているかもしれない。しかし、一方で専門学校では新たな技術を学び、人生の選択肢を広げることができる、という魅力がありました。

悩んだ末に選んだのは、専門学校への進学でした。それは今考えても正しい選択だったと思っています。



ます。もし大学に進んでいて、まだ野球を続けていたら、今日の私はいなかったはず。なぜならその時の選択が、後に私が妻と出会うきっかけになったからです。

専門学校での学びの中で新たな友人たちと出会い、彼らが紹介してくれたのが妻でした。運命的な出会いでした。もし大学への道を選んでいたら、今の幸せな家庭は存在していなかったと考えると人生の選択って本当に面白いものですね。

専門学校での学びは、私の仕事にも大いに役立っていますし、何より仲間たちとの絆も強くなりました。建設業の現場では、チームワークがいかに大切かを日々実感しています。仕事を通じて仲間と一緒に達成感を分かち合えるのは本当に素晴らしいことです。

また、我々建設業では、新しい出会いや縁が日々生まれます。お客様や取引先との関係も大切に

し、信頼を築くことが「縁」を育てていくのだと感じています。この業界は互いに助け合い、支え合うことが求められており、まさに人とのつながりが生きた現場です。

建設業は、私たちが快適に生活するための土台を作りあげています。建物や道路、インフラなど、私たちのライフラインを支える重要な役割を担っています。近年では、ICTやDXといった新しい技術が導入され、建設業も進化しています。しかし、どんなにデジタル化が進んでも、最後に頼りになるのは「人」であります。人間の温かみや技術、そして協力が、現在も増え続ける災害時の対応において必要不可欠なのです。

増える災害時一つの「縁」なのだと思えます。中越地震の際のように、私たち建設業界が一丸となって行動することがピンチをチャンスに変えるきっかけになるのではないのでしょうか。

さて、私の経験から一つ感じてほしいのは、選択肢を持つことの大切さです。あの時、専門学校への道を選ばなければ、様々な恩恵を受けることもなかったでしょう。人生において、私たちが選ぶ縁や道は、すべてが意味を持ち、未来へと繋がっていくのです。

結局、人生において重要なのは自分自身の選択や出会い、それら



小川興業株式会社 山梨県石和温泉の旅 令和7年6月13日 恵林寺
小川興業(株) 慰安旅行

がどれほどの影響を持っているかということでしょう。家族や友人のつながり、そして仕事仲間との絆が、私にとって大切な「縁」となっています。野球を通じて高校や仲間に出会ったことも、今に至るまでの道のりを支える大きな要素になっています。そして、これからも新しい「縁」を大切にしながら、全力で進んでいきたいと考えています。

建設業界で働く皆さんも、人生の選択や出会いを大切にし、自分の道を信じて進んでください。お互いに、誇りを持ってこの業界で共に成長していきましょう。私たちの人生は、紛れもなく「縁」によって作られているのですから。